1　黒のボールペン又は黒インクで所定の枠内に正確に記入してください。
2　申請書は、折ったり、汚したりしないでください。
3　記入を誤った場合は、二本線を引いて、その上部に正しく記入してください。ただし、写真の下の「所持人自署欄」の訂正はできません。また「氏名のヨミカタ」「ローマ字」「刑罰等関係」「申請者署名」「法定代理人署名」「引受人署名」は、訂正署名が必要です。

は、申請者本人が必ず記入してください。

★ヘボン式ローマ字について、次のものは特に誤りやすいので注意してください。

し　SHI	しゃ　SHA	ちゃ　CHA	じゃ　JA	じ・ぢ　JI	撥音：B・M・Pの前にNの代わりにMをおく （例）　なんば　NAMBA
ち　CHI	しゅ　SHU	ちゅ　CHU	じゅ　JU	ず・づ　ZU	促音：子音を重ねる （例）　はっとり　HATTORI
つ　TSU	しょ　SHO	ちょ　CHO	じょ　JO	りょ　RYO	長音：「O」・「U」は記入しない （例） おおた　OTA　ようこ　YOKO さいとう　SAITO
ふ　FU	しょう　SHO	ちょう　CHO	じょう　JO	りょう　RYO	

旅券にそのまま転写されます。
日本字又はローマ字で必ず本人が記入してください。
（ひらがな、カタカナ可）

《記入例》

漢字で書く場合
岩手 二郎

ローマ字で書く場合
Jiro Imate

幼児等がひらがなで書く場合
いわて じろう

乳幼児で自署できない場合は、親権者の方が代筆してください。
岩手 花子
岩手二郎（父）代筆
Hanako Imate
by J Imate (Father)

《署名として良くない例》

枠からはみ出しているもの
岩手 二郎

二段になっているもの
jiro
Imate

なぞっているもの
岩手 二郎

インクが薄いもの、カスレたもの
岩手 二郎

記入例（表）

一般旅券発給申請書

新規・切替　（20歳未満の申請者又は20歳以上で有効期間が5年の一般旅券を希望する申請者用）　5年用

受理年月日　受理番号　窓口記入欄　確認

記入しないでください。

有効期間　発行年月日　交付年月日　旅券番号

写真は貼らないでください。

氏名（左詰めで記入）　ヨミカタ（カタカナで記入。濁点及び半濁点は1字とします。）　イワテ　ジロウ
姓（戸籍に記載のとおり。）　岩手
名　二郎
ヘボン式ローマ字　IWATE　JIRO

所持人自署（この署名は旅券にそのまま転写されます）　岩手 二郎

性別　男　女　生年月日　5005 08

本籍（都道府県名を記載）　岩手県　（市区郡以下を記入）　盛岡市内丸10番1

※今までに旧姓も含め旅券の発給を受けたことがありますか。　ある　ない

旅券番号　MS1234567　発行年月日（西暦で記入）　2005 02 20

最後に発給を受けた旅券に記載の姓をローマ字、左詰めで記入してください。　IWATE

この申請書を提出する日の年齢　満（36）歳

20歳以上の場合は、下欄の（　）内に「5」と必ず記入してください。

私は有効期限が（5）年の一般旅券の発給を希望します。

現住所（住民票に記載の住所）　〒020-0023　岩手県盛岡市内丸11-1　電話 019（606）1720　携帯 090（1234）5678

居所で申請する場合は居所も下段に記入してください。　その他勤務先など日中の連絡先（株）平泉　電話 019（629）9999

〒　電話（　）

日本国内の緊急連絡先　住所 現住所に同じ　氏名 岩手 太郎　申請者との関係 父　電話 019（606）1720

刑罰等関係　※次の各事項に該当しているか否か、□に√印を記入してください。（本人又は法定代理人が記入してください。）　はい　いいえ

1. 外国で入国拒否、退去命令又は逮捕されたことがありますか。　□　☑
2. 現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。　□　☑
3. 現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。　□　☑
4. 旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。　□　☑
5. 日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して（未遂を含む。）、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがあります。　□　☑
6. 国の援助等を必要とする帰国者に関する援護行政の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。　□　☑

現在外国の国籍を有していますか。（該当する枠内に√印を記入してください。）　外国籍の有無　はい　□　いいえ　☑

「はい」の場合　どの国の国籍ですか。　取得年月日　年　月　日　どのような方法で取得しましたか。

外国籍の父又は母の子として出生　□
外国での出生　□
外国人との婚姻又は養子縁組　□
帰化申請又は国籍取得届出　□

外務省コード欄　03 13条　04 対立地域　14 旅券返納　官庁コード

記入しないでください。

（別記第2号様式）　裏面も記入してください　用紙の大きさはA4　平成23年外務大臣承認第19号

5年用と10年用では用紙が異なりますので、記入する前に確認してください。

この写真は旅券に転写されます。（裏面下方に氏名を横書してください。）

戸籍どおり正確に記入してください。

ローマ字は活字体大文字ヘボン式で記入してください。

戸籍どおり正確に記入してください。（数字は算用数字）

過去に旅券の発給を受けた方は該当する方の□に√をつけ、最後に受けた旅券について記入してください。

10年用の申請書にはこの欄はありません。

・住民登録している住所を記入してください。
　［アパート名・部屋番号も記入してください。］
・勤務先等、日中連絡のとれるところを記入してください。
・未成年者等の場合は、両親どちらかの勤務先を記入してください。

居所で申請する場合は、居所地を記入してください。

申請者本人が渡航している間の連絡先を記入してください。（一緒に渡航しない人）

外国籍の有無について、必要事項を記入してください。

該当する方の□に√をつけてください。（刑罰等該当者は事前にご相談ください。）

記入例（裏）

出発予定日　平成26年3月1日　※主要渡航先での滞在期間　☑3ヶ月未満　□3ヶ月以上

※次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目の□に√印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。
①□表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合　②□旅券の二重発給を受けようとする場合

渡航目的（具体的に）　記入しないでください。
②の場合は、二重発給を受けようとする理由

今回の渡航先（渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください）　国名　コード

旅券面の氏名表記（表面のヘボン式と異なる場合のみローマ字活字体大文字で記入）

（姓）　（名）　ヘボン式表記によらないローマ字表記を希望する場合は、この欄に記入することになりますので、窓口にご相談ください。　最大31字まで（別名を含む）

注：旅券面への表記可能な字数は姓・名・スペース合わせて37字（別名併記を除く）までです。
記号（、・ーなど）や、数字（Ⅱ等など）等は記載できません。但し、別名併記の（　）は記載可。

外務大臣殿在大使　総領事　殿　平成26年2月1日

この申請書の記載は事実に相違なく、旅券法第3条の規定により、一般旅券の発給を申請します。
この申請書に記入した氏名の表記を今後変更しないことを誓います。

申請者署名　岩手 二郎　（署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かい書体で行ってください（署名が困難な場合を除く）。また、申請書が未成年者又は成年被後見人の場合は、法定代理人の署名も併せて必要です。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。本人確認のために旧姓併記運転免許証を使用する場合は、押印が必要です。）

法定代理人（親権者、後見人など）署名

本人確認欄　（1点でよい書類）　□日本国旅券　□運転免許証　□住基カード（写真付き）　□船員手帳　□海技免状　□猟銃等所持許可証　□戦傷病者手帳　□宅建取引主任者証　□電気工事士免状　□無線従事者免許証　□官公庁職員身分証明書　□身体障害者手帳　（2点必要な書類）　□健康保険証　□国民健康保険証　□船員保険証　□共済組合員証（学生証、社員証、公的な資格証明書など）　□年金手帳　□印鑑登録証明書（平成26年実印）　□後期高齢者医療被保険者証　□その他写真付きの身分証明書

官公庁記載欄　記入しないでください　□代理　□非ヘボン　□別名併記　□長音表記　疎明資料名（　）　理由（　）

申請書類等提出委任申出書　（代理提出のとき記入）

（法定代理人が申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です）

申請者記入　私は旅券法第3条第4項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出いたしたく、申し出ます。
平成26年2月1日　申請者署名　岩手 二郎
引受人氏名　岩手 正子　申請者との関係　妻
引受人住所　岩手県盛岡市内丸11-1

引受人記入　私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署及び申請者署名は本人自筆のもの（又は適正な記名）であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。
平成26年2月1日　連絡先電話番号 019（606）1720
引受人署名　岩手 正子　生年月日　明治・大正・昭和・平成 52年 3月 3日

注意事項
1. 申請者の指定した者が、代わりに申請書類などを提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示（出）してください。
2. この申請による旅券取得が日本国法令の制御に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられることがあります。
3. 署名は必ず本人が行ってください（署名が困難な場合を除く）。
なお、署名が困難な場合であって法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。

（別記第3号様式）

申請書の記載事項をよく確認して、必ず申請者本人が、戸籍どおりに署名してください。

幼児で署名の困難な場合は、親権者の方が署名してください。
〈例〉父代筆
岩手 花子

申請者が未成年（20歳未満）の場合は、法定代理人（親権者または後見人）本人の署名が必要です。

必ず申請者本人が記入してください。

代理の方が記入してください。